

2026年3月4日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「膵神経内分泌腫瘍の診断における超音波内視鏡下穿刺吸引法の有用性と予後の検討」への協力をお願い

消化器内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2010年10月1日～2025年12月31日に当科において、膵神経内分泌腫瘍の診断を受けられた方

研究期間：研究機関の長の許可日～2030年12月31日

研究目的・方法：

膵神経内分泌腫瘍と診断を受けられた患者さんの、超音波内視鏡下穿刺吸引法を用いた診断能、治療の有無による予後調査などの臨床データをデータベース化し、後方視的に観察することで、膵神経内分泌腫瘍に対する診断能、治療のエビデンスの構築を図ります。

研究に用いる情報の種類：

年齢、性別、診断日、症状の有無、腫瘍径、機能性/非機能性、リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無、EUS-FNA 施行の有無、穿刺針の種類、穿刺部位、穿刺回数、Ki-67 指数 (FNA 検体、手術検体)、再発の有無、再発日、FNA の有害事象、術後合併症

研究に用いる情報の利用または提供を開始する予定日

2026年3月6日

情報の取り扱い：

個人情報削除され個人が特定されないように加工された情報を電子媒体を使用して電子メールを用いて共同研究機関から研究代表機関に集積されて研究利用されます。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたっ

て当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科
氏名：上村 真也

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科
氏名：上村 真也

共同研究機関等：

岐阜市民病院 消化器内科 岩田 圭介
岐阜県総合医療センター 消化器内科 三田 直樹

情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

岐阜大学大学院医学系研究科長 牛越 博昭
岐阜大学医学部附属病院長 秋山 治彦
岐阜市民病院 病院長 山田 誠
岐阜県総合医療センター 病院長 桑原 尚志

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 第一内科
電話番号：058-230-6308
氏名：上村 真也

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp